



年末年始受付業務案内 2021.12月~2022.1月

2021年8月より、休日の剖検受付日程・時間を変更しました。
剖検可能日は12月29日、31日、1月2日になりますので、ご注意ください。

	2021/12月 29日 (水曜日)	30日 (木曜日)	31日 (金曜日)	2022/1月 1日 (土曜日)	2日 (日曜日)	3日 (月曜日)
剖検業務体制	休日体制 受付時間 8:30~15:00 (内線 2257 or PHS 18218)					
剖検当番医	福嶋	-	三浦	-	天野	-
剖検補助当番技師	杉本	-	二階堂	-	小瀬川	-
組織診 細胞診	休日体制で受付対応・検体処理をしますが、 緊急で検体提出がある場合、剖検当番医 または 当番検査技師 内線 2257 または PHS 18218 に連絡を取ってから検体を提出して下さい (原則として 病理診断・術中迅速診断などの診断業務は行いません)					

※剖検当番医・剖検補助検査技師は変更になることがありますのでご了承下さい。

合格しました！！

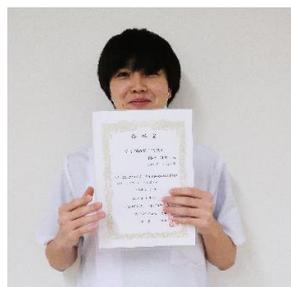
7月17日に杉本真技師が遺伝子科学分析認定士(初級)に、10月23日に岡田啓祐技師が電子顕微鏡二級技士に、10月27日に飛田野清美技師が電子顕微鏡一級技士に合格しました。

遺伝子科学分析認定士(初級)：杉本技師



遺伝子分析科学認定士制度は、遺伝子分析科学または遺伝子関連検査に関与する者の学識及び技術の向上と検査の標準化を図り、また一般の人々における遺伝子関連検査に関する正しい知識を啓発し、遺伝子関連検査に基づく良質な医療の発展・普及に寄与することを目的としています。

電子顕微鏡二級技士：岡田技師



電子顕微鏡技術認定制度は、電子顕微鏡に関わる技術者として十分な知識と技能を持つことを日本顕微鏡学会が認定する制度です。

二級では基本的技術を獲得していることを一級では実務技能を備えたことを証明し、キャリアアップのための自分のスキルを証明する方法として有効な試験です。

電子顕微鏡一級技士：飛田野技師

電顕一級技士試験は、筆記試験合格後に2度の実技試験を経て最終合格後、電顕一級技士の称号を名乗ることができる難関の試験です。2021年現在、電子顕微鏡一級技士は日本国内で113名です。

(日本顕微鏡学会発表)

